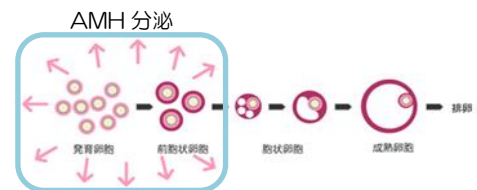


採卵時年齢別および AMH 値別の 累積妊娠率の比較

AMH とは…?

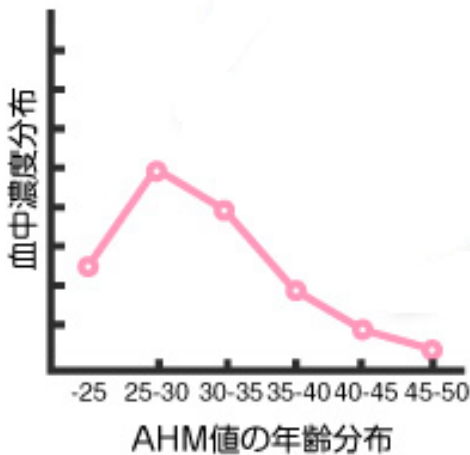
AMH (アンチ・ミュラーリアン・ホルモン) は、いろいろな発育ステージ卵胞の中でも(前卵胞状卵胞までの未熟な卵胞のみから分泌されるホルモンで、卵巣の予備能を評価するのに最も適していると言われているホルモンです。AMH についての詳細は News Paper No.51 をご覧ください。

※ 卵巣予備能とは、卵巣の中に残っている卵子の目安のことです。



AMH はどうして測るの…?

AMH を測ることにより、今後の治療方針の決定や、体外受精時の卵巣刺激方法の選択を行っていきます。AMH の値が低い場合には、タイミング法ではなく早期に人工授精や体外受精へのステップアップをお勧めすることがあります。また、体外受精を行うにあたって AMH が高い場合、卵巣刺激により副作用のリスクが増すため、マイルドな刺激方法を選択することがあります。



卵巣予備能を知ることは不妊治療をいつまで続けられるかの目安にもなります。年齢とともに AMH は低下していきますが、若くても AMH の値が低く、早発閉経となる方もいます。ご自身の卵巣年齢を知り、今後の治療や人生設計に役立ててください。

今回、採卵時の年齢を 40 歳未満と 40 歳以上、AMH 値を 0.5ng/ml 以下、0.5-0.99ng/ml、1.0-4.99ng/ml、5ng/ml 以上の 4 グループに分け、臨床妊娠した症例が採卵何回目の凍結胚で妊娠したのか、累積妊娠率を出しましたので、ご報告させていただきます。

累積妊娠率 とは…?

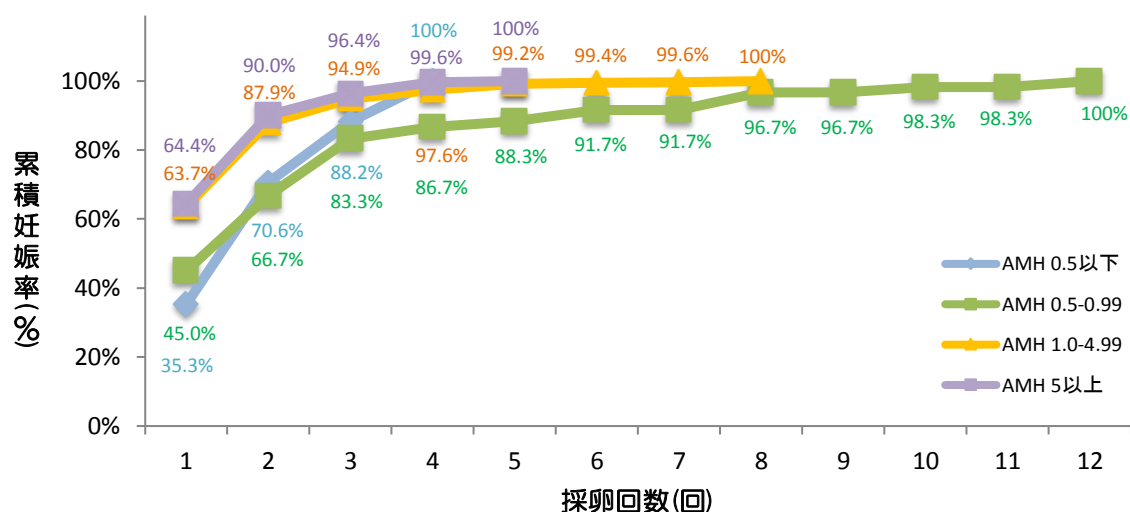
妊娠した人を積み上げていき、その率を計算する妊娠率のことです。

※ 今回のデータは絶対妊娠する採卵回数ではありません。

🐻 39歳以下症例

以下のグラフは、39歳以下の症例をAMH別に分けて比較したものです。

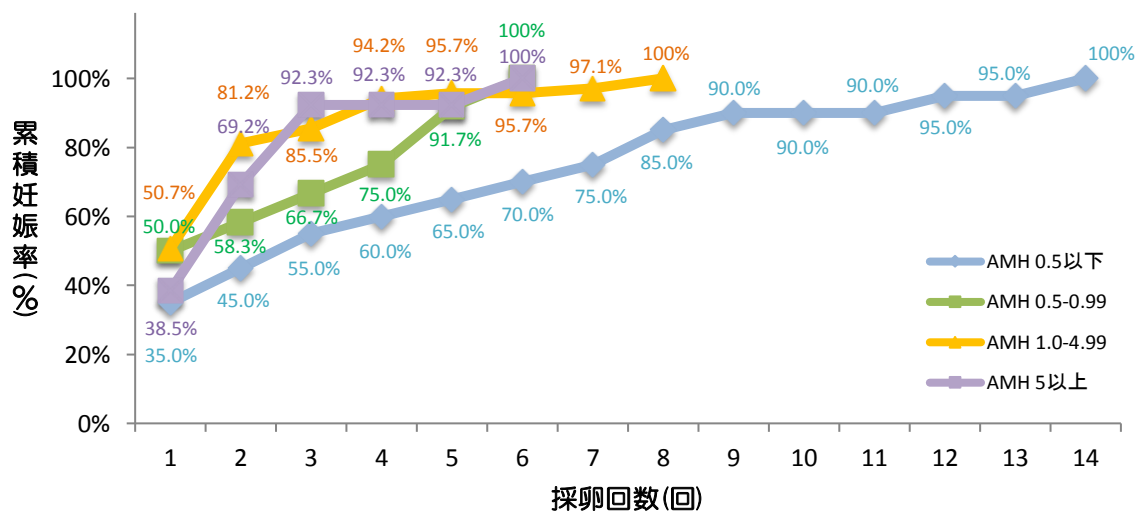
39歳以下症例の妊娠する割合が90%を超える採卵回数は、AMH 0.5ng/ml以下4回、0.5-0.99ng/ml6回、1.0-4.99ng/ml3回、5ng/ml以上2回となりました。また、初回採卵時の妊娠率はAMH 0.5ng/ml以下35.3%、0.5-0.99ng/ml45%、1.0-4.99ng/ml63.7%、5ng/ml以上64.4%でした。以上より、AMHの値が高い方が採卵回数は少なく、初回採卵時の妊娠率も高くなるという結果となりました。



🐻 40歳以上症例

以下のグラフは、40歳以上の症例をAMH別に分けて比較したものです。

40歳以上症例の妊娠する割合が90%を超える採卵回数は、AMH 0.5ng/ml以下9回、0.5-0.99ng/ml5回、1.0-4.99ng/ml4回、5ng/ml以上3回となりました。また、初回採卵時の妊娠率はAMH 0.5ng/ml以下35.0%、0.5-0.99ng/ml50.0%、1.0-4.99ng/ml50.7%、5ng/ml以上38.5%でした。以上より、39歳以下症例と同様に、AMHの値が高い方が採卵回数は少なく、初回採卵時の妊娠率も高くなるという結果となりました。



妊娠する割合が90%を超える採卵回数(回)

	39歳以下	40歳以上
0.5ng/ml以下	4	9
0.5-0.99ng/ml	6	5
1.0-4.99ng/ml	3	4
5ng/ml以上	2	3

採卵初回時の累積妊娠率(%)

	39歳以下	40歳以上
0.5ng/ml以下	35.3	35.0
0.5-0.99ng/ml	45.0	50.0
1.0-4.99ng/ml	63.7	50.7
5ng/ml以上	64.4	38.5

これらの結果から、AMHが同じ値であっても、年齢が高い群では妊娠に至るまでの採卵回数が多くなることがわかりました。特にAMHが0.5ng/ml以下の低値の場合、39歳以下で4回、40歳以上では9回と採卵回数が多くなりました。

AMHは年齢とともに低下します。AMHが下がるということは、卵巣内の卵が減るということであり、年齢とともに採卵出来る卵の数も減っていきます。年齢が若く、AMHの高いほうが採卵数、凍結できる胚盤胞数も多くなるため、妊娠に至るまでの採卵回数が少なくなると考えられます。

しかしながら、体外受精の回数を重ねれば必ずしも妊娠できるわけではありません。全体の体外受精の成績を見ると5回から6回あたりで累積妊娠率は横ばいになり、妊娠する方はかなり少なくなります。しかし、今回のデータでは年齢やAMHの値によってこの回数が異なることがわかりました。年齢や治療方法を考慮し、自分の状況によって何回まで採卵を行うかの目安にしてみてください。



担当：ラボ 大川